



東中だより

発行R2. 8. 7
文責：田中 浩

○一学期を振り返って

誰もが予想もしなかった、休校措置から新学期がスタートしました。新型コロナウイルス感染症が広がり、全ての生活に影響を及ぼし、本当に不安ばかりのスタートでした。やっと六月からは「新しい生活様式」を取り入れての一学期が始まり、みんなと一緒に生活ができる喜びを改めて感じる事ができたと思います。授業時数を消化するために、八月七日まで一学期は続きましたが、暑い中一生懸命授業に取り組みることができ、よく頑張ってくれました。もう一度一学期を振り返り、自分自身の気持ちや行動について考える時間をとりましょう。

○短くても充実した夏休みを

夏休みの十日間をどのように過ごす予定ですか。まだまだ気兼ねなく旅行や帰省をすることができない状況ですが、行動する場合は細心の注意を払い感染防止対策をしていきましょう。宿題も多くはないと思いますので、家族との時間や自分自身のための時間として有意義な十日間を過ごしてください。

○まもなく二学期がスタート

ゆつくり休む間もなく二学期が始まります。今年の二学期は四ヶ月以上の長丁場となりますが、まず、一学期間の学習の成果としての前期テストが下旬に実施されますので、それに向けて全力でトライしてください。努力した分の結果が必ず現れると信じて頑張ってください。その後、九月には三者懇談会を予定しています。



行事等も実施方法を工夫して、できることを行っていく予定です。生徒のみなさんも積極的に参加していきましょう。

○修学旅行で再確認を

延期になっていた修学旅行を九月に実施する予定です。すでに、三年生の保護者会や学活等で説明は聞いています。心配な部分はあると思いますが、予定通りに出発できることを願います。修学旅行では、私たちが安心・安全に旅行するために多くの方々の協力の上になり立っていることを忘れてください。そして感謝の気持ちを行動で表していきましょう。また、修学旅行を通して、クラスや学年の一員としての絆を再確認してください。みんなが成功させましょう。



○目の前のことをコツコツと

今年は本当に混乱からのスタートでした。くよくよ悩んでも過去は変わらないし、未来のことは誰もわからないので、考え続ければ頭も体も疲れてしまいます。あるサッカーチームの監督の話ですが、選手が試合中いつものようにプレーできていませんでした。理由を聞くとある選手は「自分のミスで点を取られたことが気になり、集中できなかった」、またある選手は、「雨が降りそうで、グラウンドの状態が悪くなり、試合が思うようにできなくなることが心配だった。」ということでした。そこで監督が、「過ぎてしまったことや、まだ起きていないことを心配してもしかたがない。それよりも、今自分ができることをしっかりとやることが大切だ。」と選手たちに話されました。その後、選手たちは力を発揮したそうです。

学校生活も同じです。「あのときに感染症が流行らなければ、...」「この先どうなるんだろう...。」と考えたくなってしまうかもしれません。心配事はいろいろあるかもしれませんが、目の前のことをコツコツやっていくことで、自分らしく生き生きと過ごすことができるでしょう。

夏休みがいつもより短いことなど、「今年はそうす

ることが必要だ」と受け入れて、やりたいことに集中し、休み明けの二学期を元気に迎えてほしいと思います。

○保護者の皆様へ

コロナ禍の中、子どもたちは学校生活に前向きに頑張ってくれています。そんな子どもたちの心の声をご家庭で聞いてあげてください。こんな時だからこそ、学校と家庭との連携を大切にしていかなければならないと思います。PTA活動もいつものようにできませんが、協力してできそうな活動のご提案をお願いします。また、今年度の体育大会は保護者の皆様の見学を控えていただきますよう、お願い申し上げます。

○暦の話

八月は一番暑さの厳しい時期です。暦の上では「立秋」が過ぎると秋となります。暑中見舞いが残暑見舞いに変わります。日本では旧暦の八月を「葉月」と呼びます。旧暦の八月はすでに木の葉が落ちる秋の初め頃なので「葉落ち月」からきているという説が有名です。また、秋のはじめに見られる自然を表す言葉として「燕去月」「雁来月」「紅葉月」「清秋」などがあります。



今後の予定

- 8/18 二学期始業式
- 8/19 給食開始
- 8/26~28 前期テスト
- 8/28 諸費引き落とし
- 9/7 3年学力診断テスト
- 9/9~11 三者懇談会
- 9/16~18 3年修学旅行
- 9/21 敬老の日
- 9/22 秋分の日
- 9/28 諸費引き落とし
- 10/1 体育大会

マスクの着用をお願いします

